

い草の神様の頌徳碑を移設

2016年11月14日、熊本県い業協同組合は、熊本県八代市千丁町の岩崎神社で、岩崎主馬守忠久公の頌徳碑 移設終了の神事を行いました。

熊本地震で被害を受けた、同組合事務所を解体撤去し、借地の土地は返却する事になりました。同敷地に建立されていた頌徳碑は、検討を重ねて、岩崎主馬守忠久公を祀った岩崎神社に移設が決まりました。9月12日に工事の安全を祈願する神事が行なわれ、11月5日に工事が無事終了しました。



△ 神事で、玉串を奉納する
坂井 欣一 県い業協同組合 理事長



△ 移設された 岩崎主馬守忠久公の頌徳碑

今回の神事は、移設の無事終了の御礼と地域住民の方へのお披露目を兼ねて行なわれました。

県い業協同組合の坂井 欣一理事長は「今回の移設で、後世まで功績を末永く残す事が出来る」と語りました。

移設された頌徳碑は、高さ約4メートルで、岩崎神社の境内、入って直ぐ右側に、元と変わらぬい姿で地域を見守っています。